

淡水化（RO）装置入口における トリチウム濃度の上昇傾向について

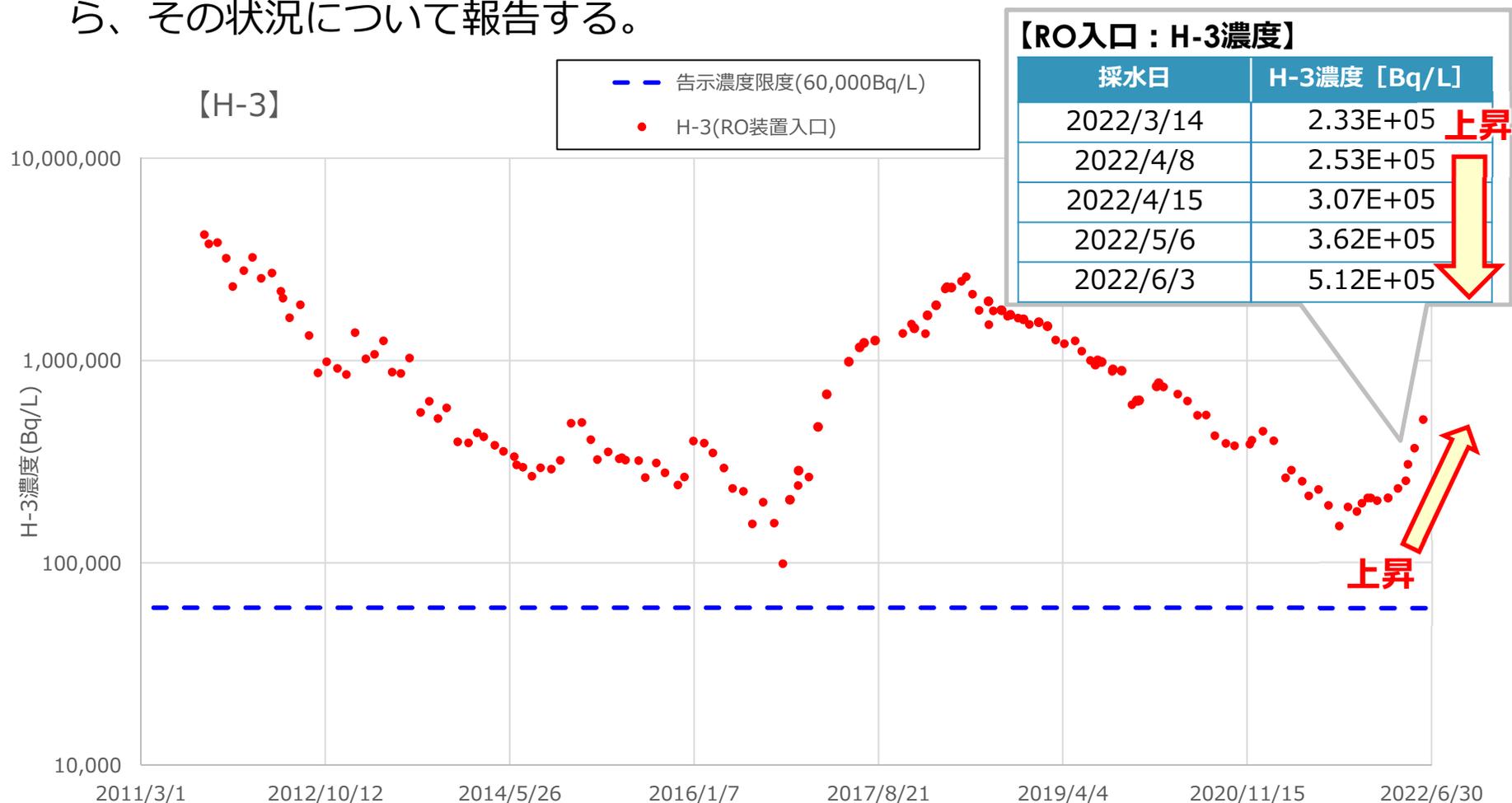
2022年 7月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 淡水化（RO）装置入口におけるトリチウム（H-3）濃度推移

- RO装置入口におけるH-3濃度については、処理水ポータルサイトにて四半期毎に定期的に更新している。
- 2022年3月下旬以降、RO装置入口のH-3濃度が上昇傾向となっていることから、その状況について報告する。

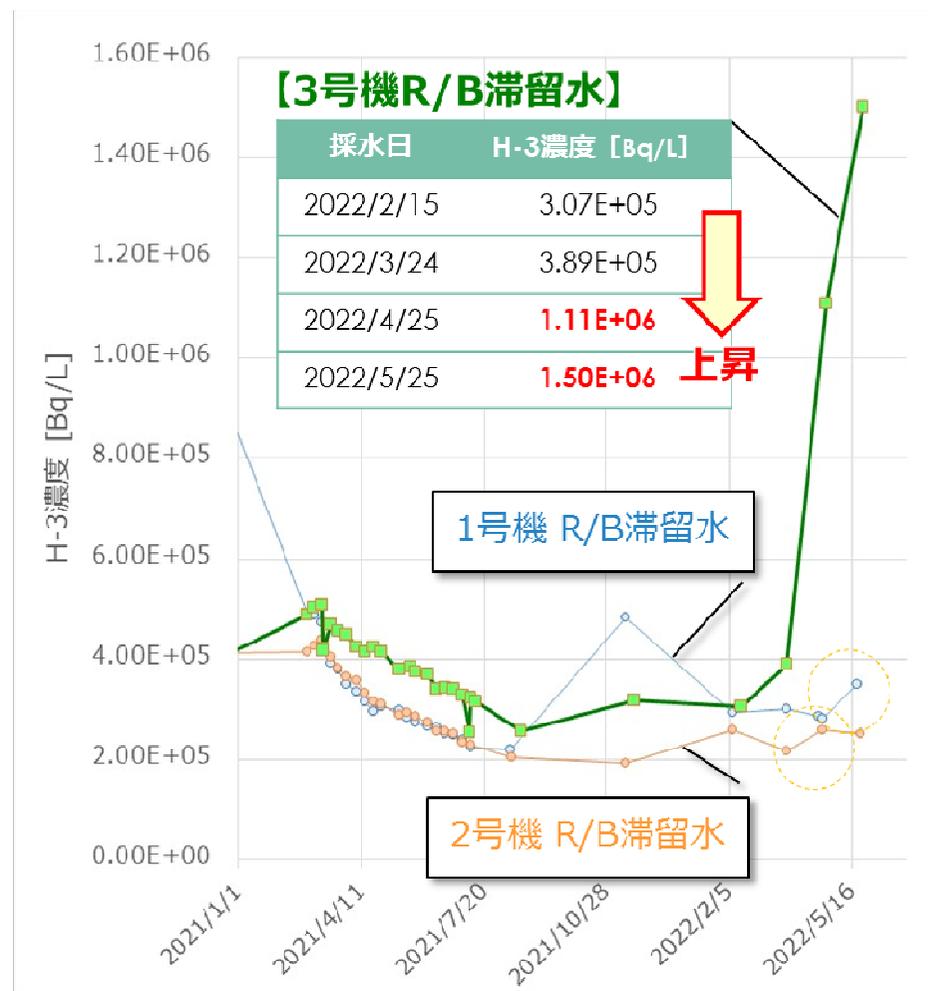


※ 2015/4/30以降のデータは当社HP「福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果」に掲載のデータ

2. 要因調査 (1/2)

- 各建屋の滞留水中のH-3濃度を確認したところ、RO装置入口のH-3濃度上昇と同じ時期に3号機R/BのH-3濃度の上昇が見られることを確認（右図参照）。

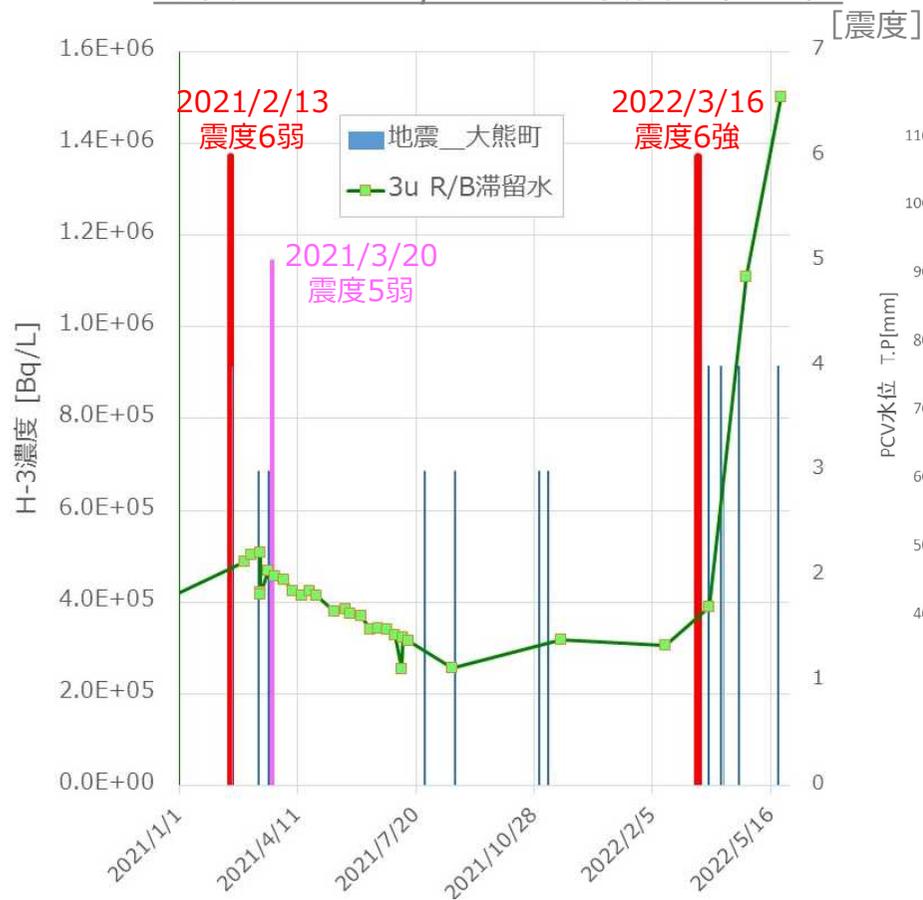
※1,2号機の上昇（○部）についてはRO装置入口のH-3濃度上昇に伴い、淡水側にもH-3が移行されたことによる影響と推定。



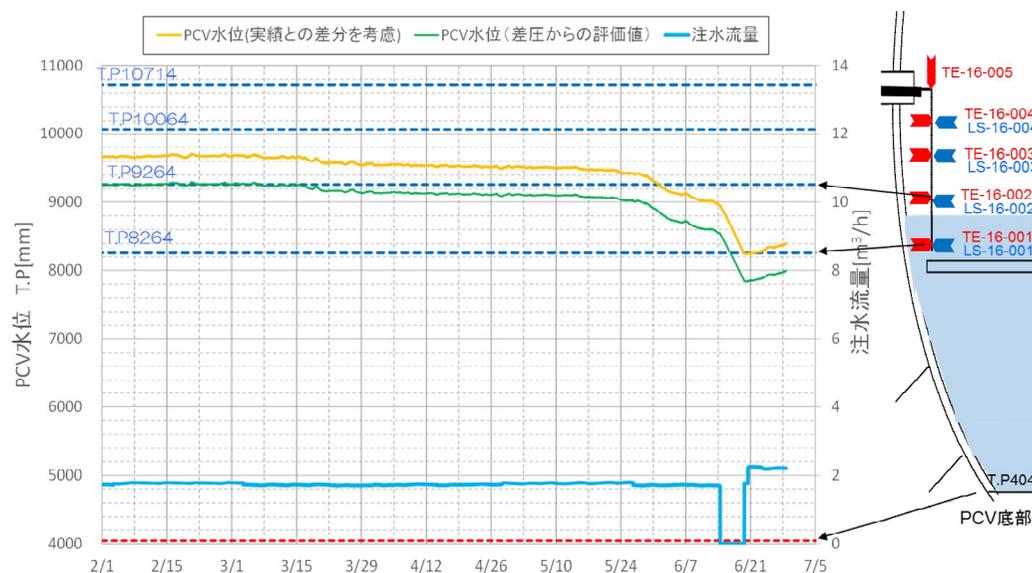
2. 要因調査 (2/2)

- 3号機R/B濃度のH-3濃度上昇には、2022年3月16日の地震以降に発生している、PCV水位の緩やかな低下事象が影響している可能性がある。
- 今後も、RO装置入口等のトリチウム濃度を継続して監視していく。

地震と3号機R/BのH-3濃度の相関性



3号機PCV水位

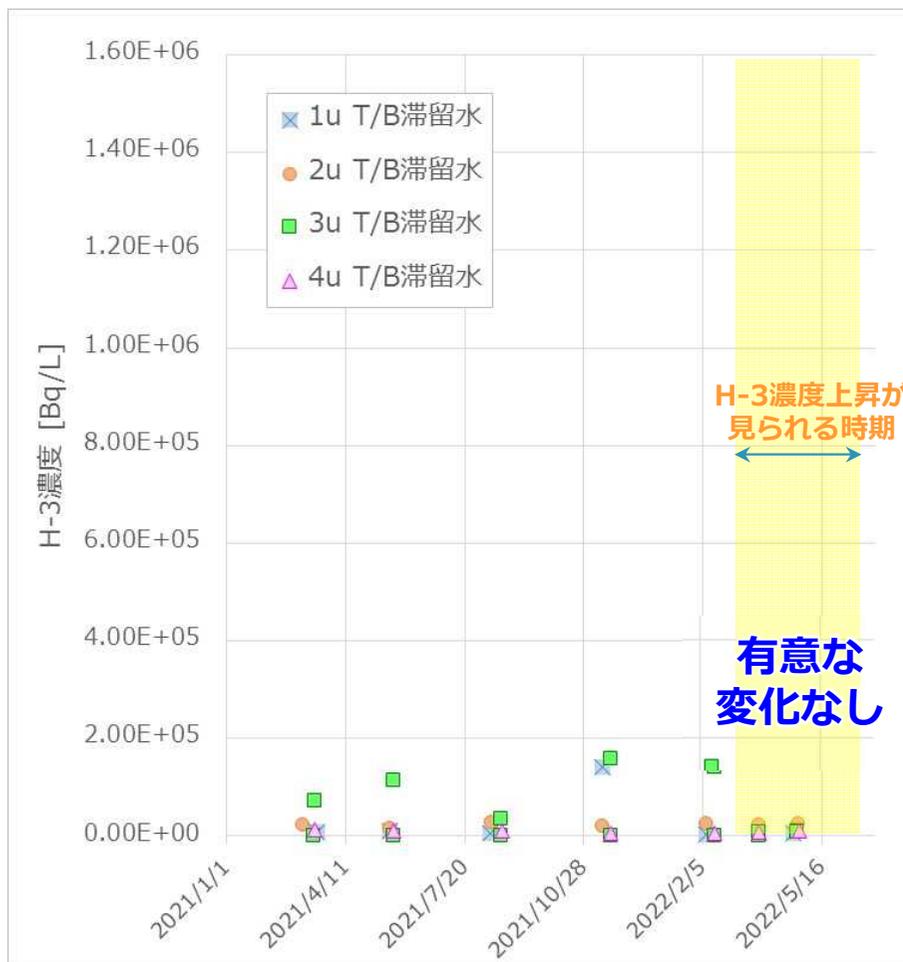


2022年6月30日
 廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合
 第103回事務局会議
 3号機原子炉注水停止試験より

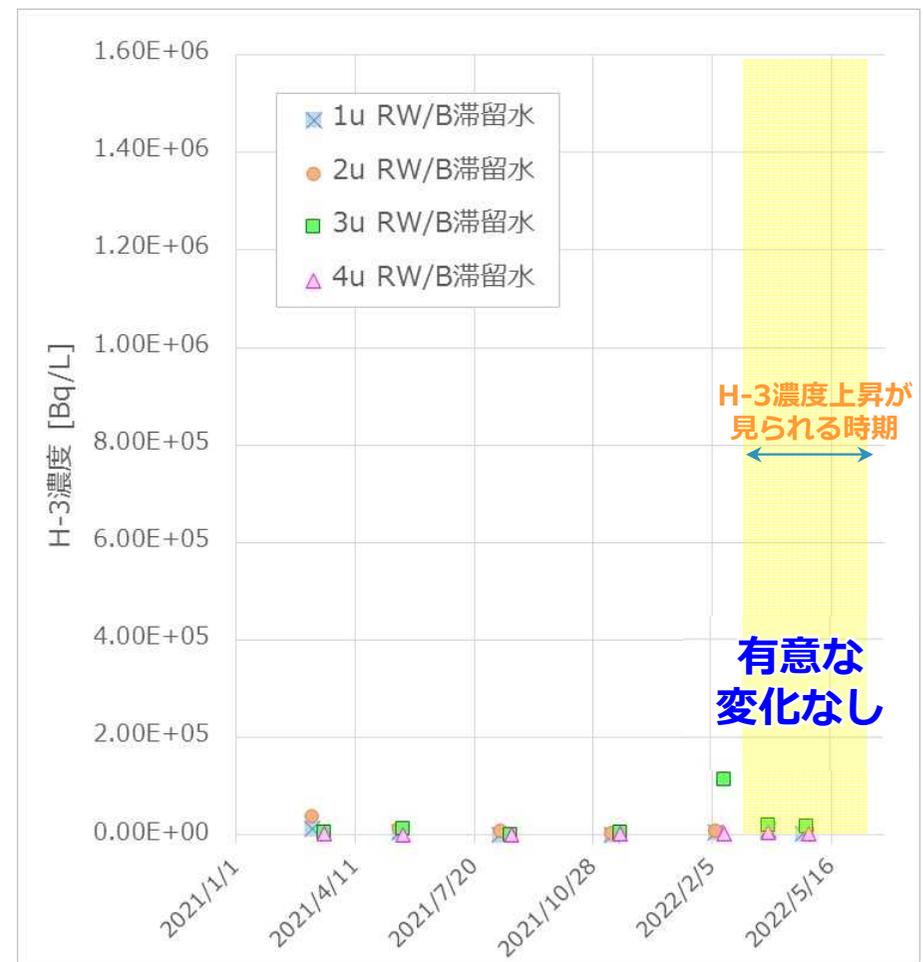
【参考】 T/BならびにRW/BのH-3濃度推移

- RO装置入口のH-3濃度上昇と同じ時期にT/BならびにRW/Bにおいて、有意な濃度変化が見られていない。

T/BのH-3濃度推移



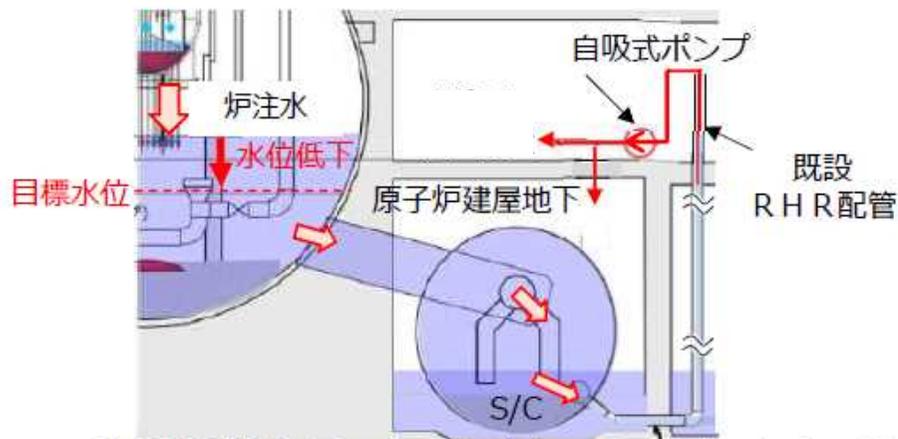
RW/BのH-3濃度推移



【参考】 3号機PCV取水設備の影響

- 3号機については、2022年4月にPCV取水設備の試運転を実施しており、約11m³程度R/Bへ水を移送しているが、H-3濃度上昇への寄与は小さいと評価している。

3号機PCV取水設備の試運転概要



	移送実績	3u R/B水量 (2022.3末時点)	移送後H-3 濃度 (予測値)
H-3濃度	1.08E+07Bq/L	3.89E+05Bq/L (3/24分析結果)	4.49E+05Bq/L
水量	11.25m ³	1,954m ³	<参考> 1.11E+06Bq/L (4/25実測値)